

法令外国語訳の課題と今後の取組方針 について

令和5年3月6日
法務省大臣官房司法法制部

目標と現状

英訳法令等公開数の目標

＜令和3年1月・令和4年4月 官民戦略会議・英訳法令公開数に関する要望＞

【令和2年度（2020年度）の重点要望事項】

- ・2025年度までに少なくとも新たに600本以上の英訳法令等を公開すること

【令和4年度（2022年度）の重点要望事項】

- ・2025年度までに新たに1,000本以上の英訳法令等の公開を目指すこと



＜令和4年7月 関係省庁連絡会議＞

官民戦略会議の要望を受け、要望で示された数値目標を達成するために取組を進めることを承認

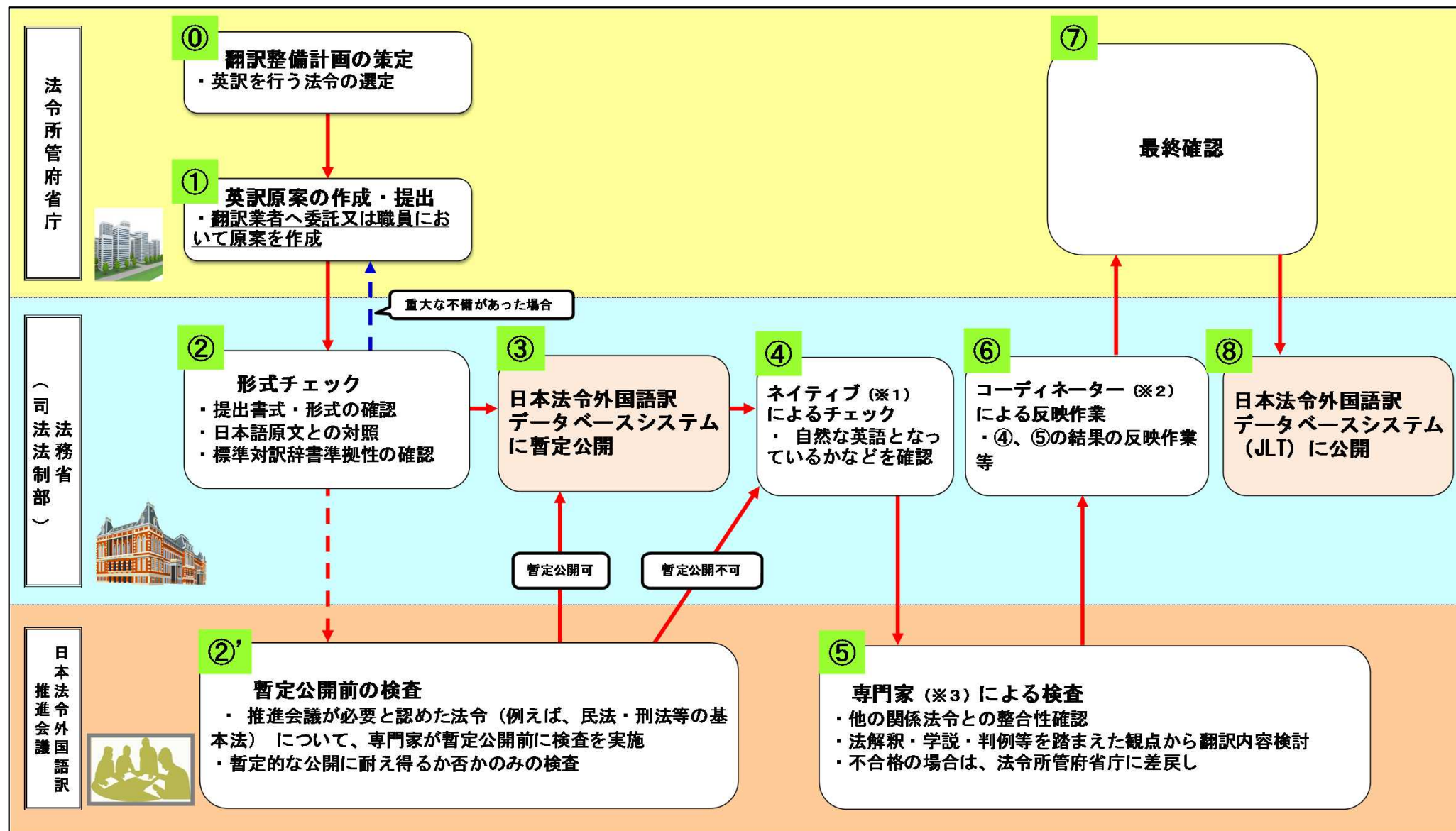


令和3年度（2021年度）の公開法令数は81本

令和4年度（2022年度）の公開法令数は107本（R5.2月末時点）

関係府省庁等にヒアリングを実施し、実態を把握

現在の業務スキーム



※1 ネイティブ：英語を母国語かつ母語とする者で、日本法及び英米法の素養がある者。
 ※2 コーディネーター：日本語を母国語かつ母語とする者で、日本法及び英語の素養がある者。
 ※3 専門家：日本法令外国語訳推進会議の構成員。学者・弁護士・外国法弁護士から構成される。

実態把握の結果について

○ 翻訳整備計画への法令の掲載について（令和4年度）

① 法令を掲載した理由

- ・ 翻訳要望があったため
- ・ 国際機関等との情報共有ができる体制整備が重要であるため

② 法令を掲載しなかった理由

- ・ 翻訳要望が重点的に英訳法令の公開を要望する分野(※)等と関連しないと判断した
- ・ 予算の都合上、翻訳対応が困難

※ 対日直接投資にかかわる分野、知的財産分野、民事分野の基本法、我が国に居住する外国人に関わる分野

○ 英訳法令の原案作成に時間を要している理由等

- ・ 法改正が行われた年度は、法令翻訳の予算がない
- ・ 多忙であることから、法令外国語訳に従事する時間がない
- ・ 担当者の英語力に作業の進捗状況が大きく左右される

目標達成のための課題

実態把握の結果から、目標達成のための主な課題は、以下の2点

- ① 翻訳整備計画への法令掲載の判断が、法令所管府省庁に委ねられている
- ② 法令所管府省庁が、翻訳原案を作成する予算や時間的余裕がない



目標達成のため、これらの課題に対応する必要がある

各課題についての今後の対応策（案）

① 翻訳整備計画への法令掲載の判断が、法令所管府省庁に委ねられている点について



○ **翻訳整備計画掲載法令の見直し**

- 官民戦略会議民間構成員が翻訳を要望する法令のうち、重点的に翻訳すべき分野に該当する法令については、原則として、翻訳整備計画に掲載することとする。
- 該当する法令を翻訳整備計画に掲載しない場合には、必要に応じ、当該省庁から官民戦略会議に対し、翻訳整備計画に掲載しない理由を説明する。

② 法令所管府省庁が、翻訳原案を作成する予算や時間的余裕がない点について



○ **業務スキームの見直し**

- AI翻訳の導入を機に現在の業務スキームを見直し、法令所管府省庁の業務負担軽減を図る。

目標達成に向けたロードマップ

No.	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		公開数目標	81本（実績）	120本	160本	320本
1	業務スキーム	品質検査方法見直し	関係省庁ヒアリング 海外調査（EU等）	関係省庁ヒアリング 海外調査（韓国） 新スキーム検討	関係省庁ヒアリング 海外調査（韓国） 試行導入	本格導入
2	品質検査体制	予算要求	予算要求 海外調査（EU等） 体制強化	予算要求 海外調査（韓国） 体制強化 体制検討見直し	体制強化	体制強化
3	AI翻訳	予算要求 導入検討 検証	予算要求 海外調査（EU等） 調査研究 調達	海外調査（韓国） 設計・開発 試行導入	本格導入	本格導入

※ 令和4年度におけるR5. 2. 28時点の公開実績（公開数107本）